医療法人社団永研会の患者さまへ

当院では、患者様の情報を用いた下記の医学研究を、在宅医療連合学会倫理委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針に則り安全に実施致します。
本研究への協力を希望されない患者さんは、その旨を下記の問い合わせ先に示した連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。
なお、本研究への協力を希望されない場合でも不利益を受けることはありません。

研究課題名	自宅と施設で看取られた高齢者における臨床的特徴の比較
研究実施機関	医療法人社団永研会　ちとせクリニック
当院の研究責任者 （所属）	米川 詩音（訪問診療部・看護師）
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
研究の実施期間	2025 年 7 月～2025 年 12 月 （調査対象期間：2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日）
研究の背景・目的	近年本邦では、高齢化の進行に伴い人生の最終段階における療養場所の選択が重要な課題となっている。病気が回復する見込みがなく、予後が 1 年以内の場合、6～7 割の人は最期を自宅で迎えたいと考えている。それにもかかわらず、自宅死の割合は 2015 年で約 13%と少ない状況であった。先行研究によると、この背景には、本人の意思だけでなく、本人の状態や家族の支援体制、医療・介護資源の整備状況など、多様な要因が関与しているとされている。そこで本研究では、在宅医療の体制が比較的整っている世田谷区およびその周辺地域において、自宅での看取りを可能にする要因を後方視的に分析する。これにより、都市型地域における自宅看取り支援のあり方に示唆を与えるとともに、他の都市地域への応用にもつながることが期待される。
研究の対象・方法	2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の 1 年間で当院にて看取りを行った 187 名を対象とした。診療録を用いて評価項目のデータ収集を行い、自宅看取りと、施設看取りで 2 群間比較を行う。
試料・情報の他の研究機関への提供	なし
個人情報の取扱い （個人情報の項目）	本研究では、対象者の氏名や住所、連絡先などの直接的な個人識別情報は収集しない。収集されたデータは、研究目的に必要な範囲に限定された匿名化された情報（例：年齢、性別、診療記録等）により構成され、個人を特定できないよう厳重に管理する。
備考 （利益相反など）	利益相反なし